

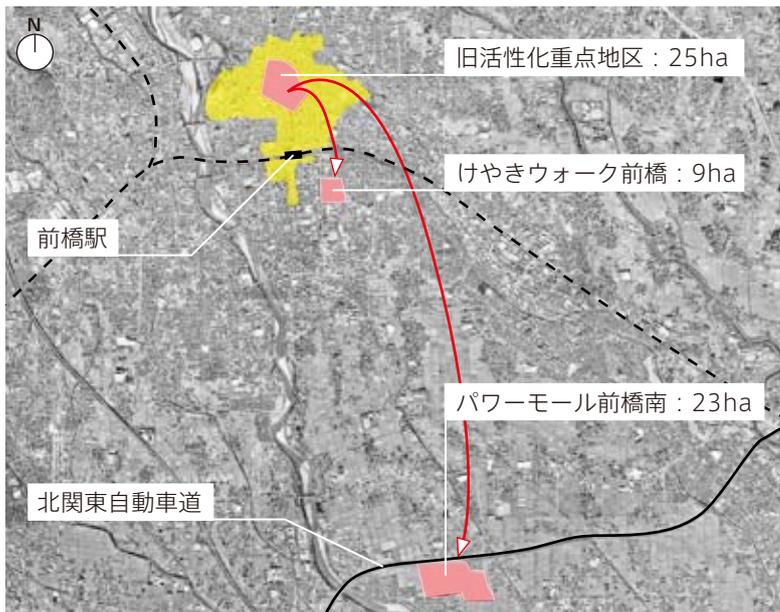
ZONE.

「都市のイメージを用いた前橋市活性化重点地区のグランドデザインに関する研究」
4番8番街区を敷地とする ZONE という新しい公共空間の設計



本計画の社会的背景

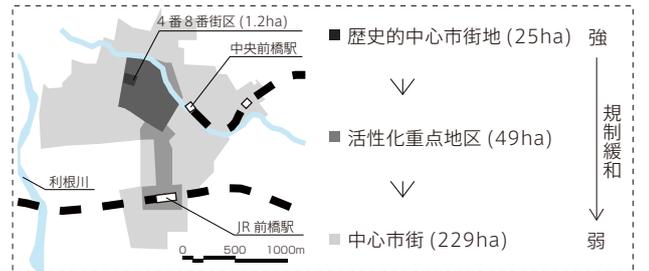
01. 商業の中心の移動 > 都市の衰退化



02. 都市のイメージ調査 > 前橋市の独自性



03. グランドデザインの提案 > 歴史的中心市街地への転換



デザイン手法

欧州的な広場をもつ建築に囲まれた中心性のある公共空間を、日本において展開するためのキーワードとして「分散」「混在」「連続」の3つを提案する。前橋の歴史的中心市街地の独自性として、図と地の関係にある都市構造が存在する。その囲まれた公共空間を ZONE と定義した。

01. 分散



02. 混在



03. 連続①



03. 連続②

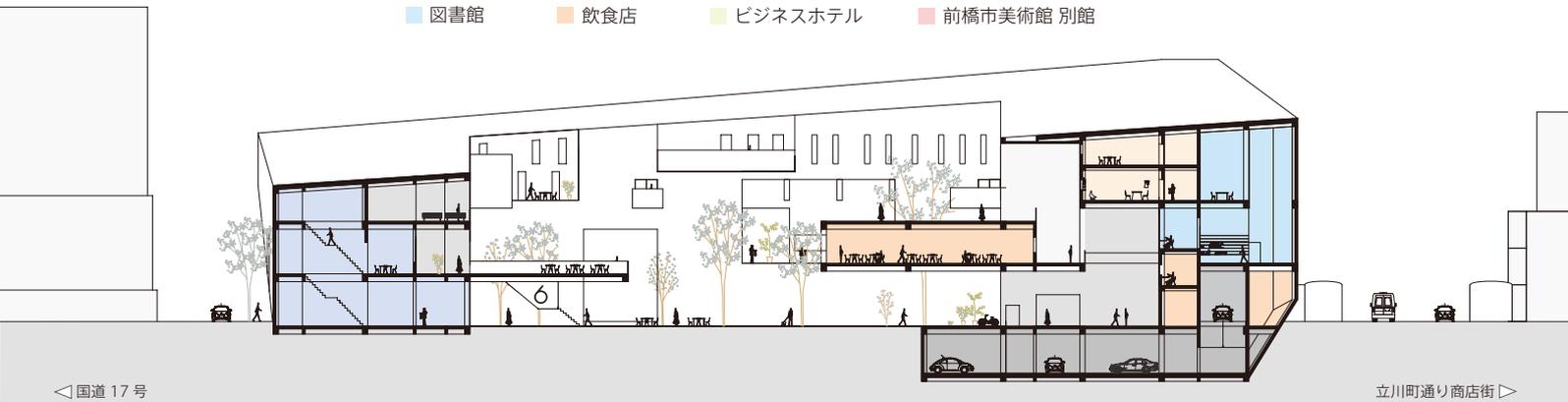


○ GL±0 Level plan S=1/1100



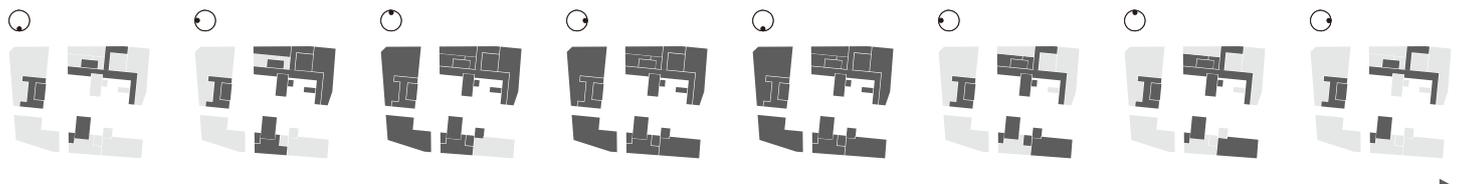
a-a' Section S=1/750

- 市民劇場
- 結婚式場
- 屋外テラス
- UDCM(アーバンデザインセンター)
- アーティストインレジデンス
- 図書館
- 飲食店
- ビジネスホテル
- 前橋市美術館 別館



24時間眠らない公共空間 : ZONE ■ ON ■ OFF

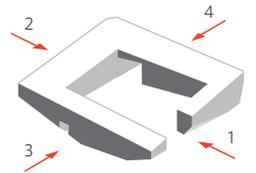
複雑なプログラムの建築物に囲まれた ZONE という公共空間では、24 時間常にどこかは稼働している空間性をもつ。常にどこかは稼働しているということは人々が日常的に訪れるための安心感を生む前橋の新しい公共空間である。人々の集まり方や空間のアクティビティは時間帯によって異なる。



1. EAST ELEVATION



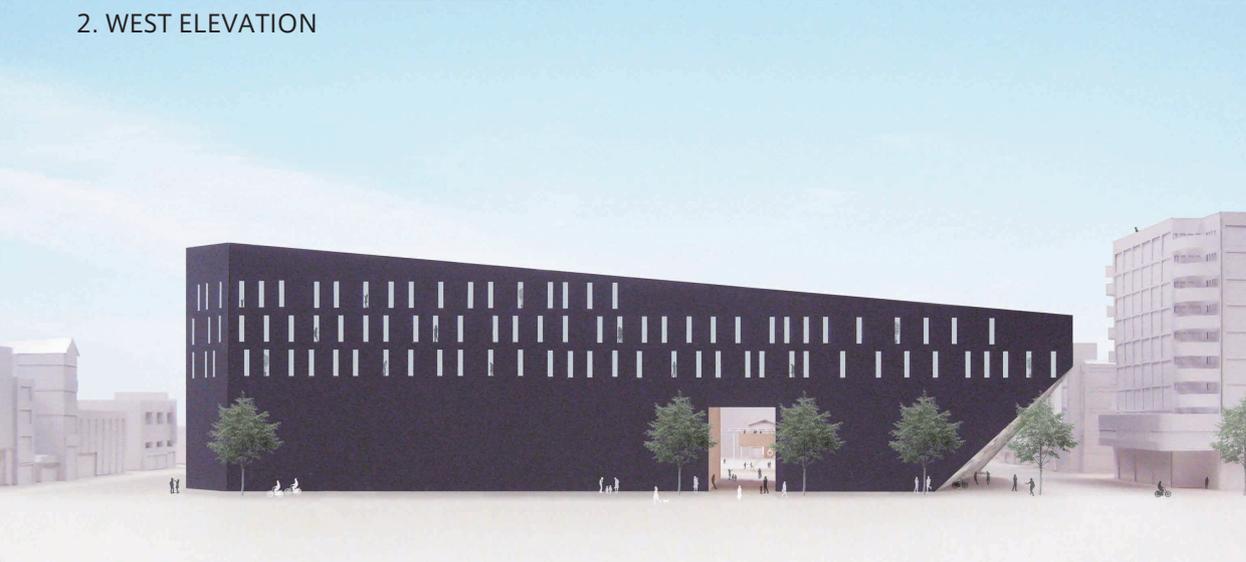
a. View point



b. 建築概要

計画地：千代田町 4 番 8 番街区
敷地面積：11313.6 m²
建築面積：7788.1 m²
延床面積：23179.8 m²
建蔽率：68.8% (max 90%)
容積率：204.9% (max 600%)
建築最高高さ：25m
構造：鉄骨造

2. WEST ELEVATION



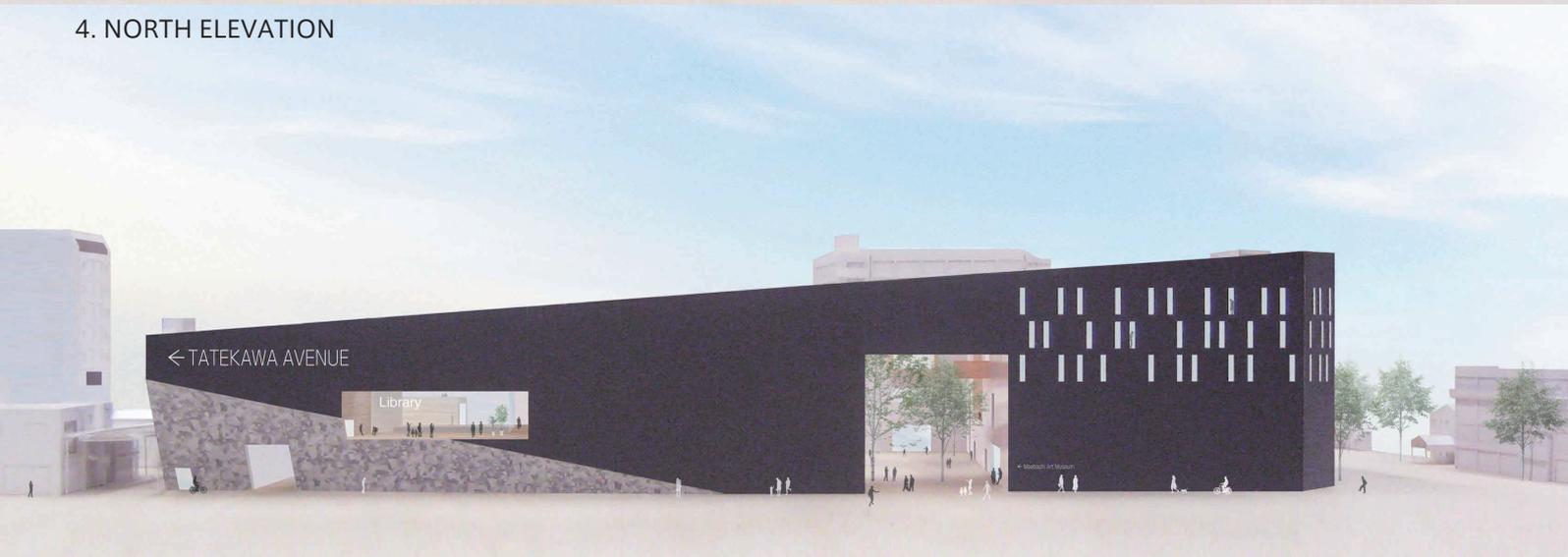
c. プログラム概要

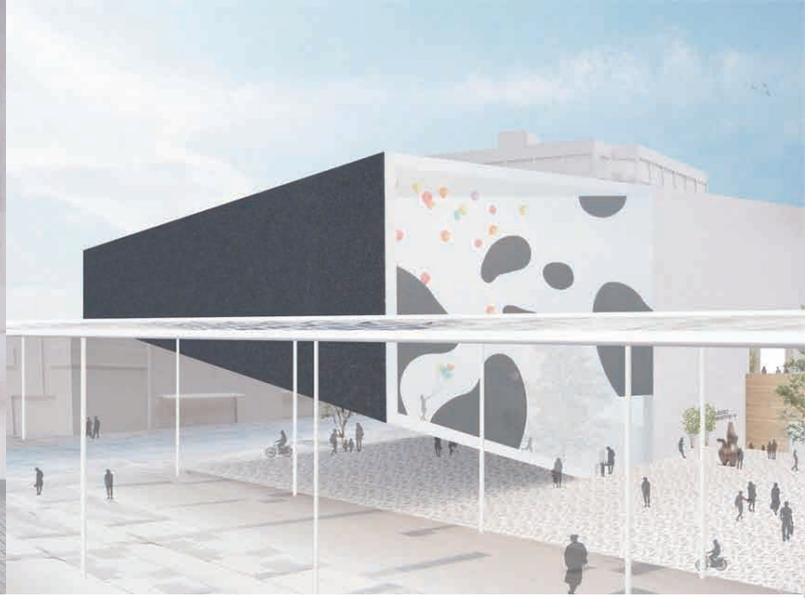
1. 前橋市美術館 分館
2. ビジネスホテル
3. 図書情報施設
4. 市民劇場
5. 商業施設
6. 結婚式場
7. アーバンデザインセンター
8. アーティストインレジデンス
9. 駐車場

3. SOUTH ELEVATION

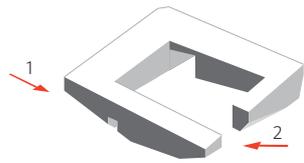


4. NORTH ELEVATION





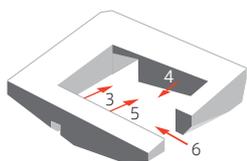
商店街の交差点を削ぐ



1. 銀座 1 丁目通りでは、歴史的な中心市街地のエッジ導入部に位置し、連続した壁要素を残しつつ、人々が歩いて動き回れる動線を確保する。
2. 中央通りと銀座 1 丁目通りの交差点では、薄暗かった既存のアーケード内に光を落とし、人々の動線を緩やかに ZONE へ誘導する。斜めに切り取られたスラブは、内部空間では市民劇場となる。



ZONE 内部の風景



3. 凸凹した部分は ZONE を立体的に連続させる。また、外部空間が各プログラムを繋ぎ 24 時間人々の動線が確保される。
4. 図書情報施設のヴォイドからは、プログラムごとに階高が異なる反対側の ZONE が垣間見える。
5. ホテルのヴォイドにはサインが書かれ、縦長の開口部に切り取られる。
6. 中央通りから ZONE 内部を望む。植栽は垂直方向に延び、建築物の凹凸は水平方向に延びるため、囲われた空間に多様なスケールの空間が生まれる。